

## 幼児教育科主要科目のねらい、特色、内容

<b>保育原理</b>
<b>【ねらい】</b> 「保育」について、意義・基本的な考え方・内容と方法・歴史的変遷・現状と課題等を学び基本的な知識を身に付ける。
<b>【特色】</b> 主体的に周囲の環境にかかわりながら日々成長していく「子ども」の姿を念頭に置きながら、「保育」について考える授業を展開している。
<b>【内容】</b> ビデオ等を活用したり質疑応答を行って、子どもにとって必要なもの・情報・援助についての理解を深めている。

<b>教職概論</b>
<b>【ねらい】</b> 教職概論は、教師を目指す学生が、教師とはどのような職業であるかを学ぶためのものである。
<b>【特色】</b> 学校現場での教育課題や教師の仕事の実際を学ぶものであり、このことによって、教師を目指すものがどのような姿勢で人生観や教育観をもち、今後の専門科目の履修に励んでいったら良いかの指針となる。
<b>【内容】</b> 教師論、教育法規や教員の服務、人権尊重教育やいじめ問題等の教育課題

<b>教育原理</b>
<b>【ねらい】</b> 教育の基礎理論として、「教育とは何か」「なぜ教育が必要なのか」「教育についての歴史や方法」といった本質を理解する。
<b>【特色】</b> 具体的な幼稚園での現状や課題を踏まえての講義である。このことによって、今日の幼児教育の現状や課題が明らかになり、21世紀を担う子どもたちを指導育成していく識見を高めることができるようになる。
<b>【内容】</b> 教育の意義と目的、教育の必要性、保育者の役割、諸外国における教育の歴史、日本の教育の歴史、教育課程など

<b>教育心理学</b>
<b>【ねらい】</b> 教育心理学で扱うテーマと方法論について理解を深める。
<b>【特色】</b> 専門的な用語が多く出てくるが、具体的で身近な例を挙げながら解説をする。
<b>【内容】</b> 主に発達、学習、パーソナリティ、適応に関連するものを取り上げる。

## 保育内容研究 子どもの育ちと健康

### 【ねらい】

保育に必要な子どもの心身の健康についての理解を深め、実践に向けた指導について学ぶ。

### 【特色】

健康に関する基礎理論や、現代社会のなかで起きる様々な健康に関する諸問題を取り上げ分析し、子どもの健やかな育ちのために役立つ情報を提供しながら講義を進める。

### 【内容】

子どもの心身の発育・発達、遊びの意義、食育、生活リズム、基本的な生活習慣、自立心の育成、病気の予防と衛生、安全教育、領域「健康」の指導案などを扱う。

## 保育内容研究 子どもの育ちと人間関係

### 【ねらい】

幼児期の人とかかわる力の育ちを、保育者としてどのように捉え、指導・援助していくかについて理解を深める。

### 【特色】

具体的な保育場面を想定して、保育者の関わり方を検討する機会を設ける。

### 【内容】

乳幼児期の対人関係の発達、幼稚園教育要領「人間関係」、保育所保育指針「人間関係」

## 保育指導法演習

### 【ねらい】

一人一人の幼児の育ちに添った適切な指導・援助ができる保育者を目指して、基本的な姿勢・技能を学ぶ。

### 【特色】

保育実践室を利用し、ロールプレイ等を行いながら実践的に学ぶ演習授業を展開している。

### 【内容】

指導案の作成と保育実践・評価・反省、ごっこ遊びの指導、劇遊びの指導、ゲームの指導等を教材作成等も含めて行っている。

## 幼児体育の基礎 I

### 【ねらい】

幼稚園教諭、保育士として幼児を対象に運動遊びやダンス・表現運動などを指導する際の基礎的な理論や指導方法について深める。

### 【特色】

主に実技を伴う実践的な授業を行い、併せて指導方法とその理論を講義形式で行なう。

### 【内容】

子ども運動遊び、ダンス、表現運動、運動の発達、ダンス・表現の基礎理論などを扱う。

<p><b>生活</b></p> <p>【ねらい】 小学校低学年に設置されている生活科を理解し、幼児教育に携わる者として必要な、幼小連携や幼小接続の担い手としての力量を高める。</p> <p>【特色】 小学校生活科の授業を具体的に学んだり、生活科での具体的な活動や体験を実際に経験したりする。</p> <p>【内容】 生活科の目標、9つの内容、遊びについて、体験活動</p>
---

<p><b>発達心理学</b></p> <p>【ねらい】 発達心理学の基本的な知見を理解するとともに、行動科学的な視点を身につけること。</p> <p>【特色】 保育者養成の場であることを鑑みて、乳幼児期の発達に力点を置き、また、現実を生きる子どもの姿を発達臨床的に捉える視点を織り込んでいる。</p> <p>【内容】 生涯発達の視点を踏まえつつ、発達規定因・初期環境・主要な発達理論や研究者・遊びの中での発達・発達援助の基本的な考え方などについて、できるだけ具体的な事例等を用いて講義する。</p>
--

<p><b>乳児保育</b></p> <p>【ねらい】 乳児保育の変遷を知り、保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら地域ニーズや保護者対応など現代社会の実態に即した乳児保育の意義、理念、内容、方法、役割について学ぶ。</p> <p>【特色】 乳児保育の実情や子どもたちの様子を入学当初の学生たちは理解できていない状態である。そのため、保育内容や意義を子どもたちや保育の実際の姿（現場での具体例）に置き換えながらの授業展開を試みている。そうすることで、学生の興味を引き出し、イメージアップを図ることも可能になる。パワーポイントや映像を活用し、現場で展開される保育内容を、より身近な子どもや保育者の姿として理解する効果を挙げている。</p> <p>【内容】 乳児一人一人の個人差に応じて保育できるように、低年齢児の発育・発達の特徴を理解する。さらに、乳児保育に必要な原理や知識、技能を習得する。実際に保育士として保育を展開できるように、具体的な事例、演習を通して保育実践に役立つ専門的技術を習得する。</p>
---

<p><b>社会福祉</b></p> <p>【ねらい】 社会福祉の全体像について講義を行い、「社会福祉」とは何かを理解し、その体系を知る。</p> <p>【特色】 保育士必修科目として、1年時講義する。また、保育者として基本学問としてマスターし、個々の学生が興味を持った分野について他の科目と関連させ、学習の機会となることを望んでいる。</p> <p>【内容】 社会福祉の歴史、制度・政策、援助方法、法体系や組織運営などを取り上げる。</p>
---

## 造形表現法

### 【ねらい】

これまでの造形学習の内容を基礎として、特に幼児教育に応用可能な造形表現技法についてより発展的・専門的に理解を深め、具体的な制作を通しての造形技法の修得を目的とします。幼児の美的感性、創造的姿勢の育成を目指した造形的な活動に用いる資料の作成や、指導の要点などについても考察を行い、造形指導におけるより現実的な力量の養成を目指します。

### 【特色】

本科目は、造形に関してより専門的なアプローチを試みようとする学生が、着実に学習内容を深めて行けるよう、立体または平面のコースを選択のうえ、少人数のゼミ形式で授業を展開しています。このため、課題に応じて美術館見学等の学外授業も実施されます。

表現技法の修得と課題設定演習を通して、学生自身の問題解決能力・独自の観点・考察的姿勢等を伸ばすため、個別の指導が受けられるように構成されていることがこの科目の特徴です。

### 【内容】

立体クラスの課題

卓鈴おもちゃの制作・テラコッタ粘土を用いた制作・タタラ技法を用いた制作・課題設定演習

平面クラスの課題

・テンペラ画〈卵で作る絵の具〉・紙額制作・アートプロジェクト演習・課題設定演習

## 家族援助論

### 【ねらい】

児童・家庭福祉及び、保育士の社会的役割としての「家族援助」について理解し、それぞれの家庭のニーズに応じた多様な支援策として、具体的な援助活動や関係機関との連携について理解する

### 【特色】

子どもや保護者との対応から生じる諸問題、それゆえに留意すべき対応・言動などの基本を学習後、一定の場面を設定してロールプレイを試みる。保育者と子ども、保育者と母親などの役割を演ずることで、互いに相手の立場に立つことの難しさや必要性を実感し、自らの感性や表現能力を高め、保育ソーシャルワークの具体を学ぼうとする意欲につながる講義をしている。

### 【内容】

家族の心理的サポート、ケアマネジメント、家族カウンセリング、などの援助方法を学ぶ。相談・支援に関する実際の事例を用いてロールプレイングを行う。そして、対象の家族に最も適した支援方法を選択し、いくつかの方法を組み合わせ実践していく能力を養う。

## 在宅保育

### 【ねらい】

子育て支援の一環としての在宅保育の位置づけ・必要性について理解を深め、ベビーシッターだけでなく施設保育者や在宅保育に関係する様々な人にも役立つように、理論と実践の両面から在宅保育を学ぶ。

### 【特色】

講義とグループワークによりすすめる。DVD など映像をとりいれて具体的にわかるようにする。また受講生同士が討議することによりお互いに理解を深める機会を提供する。

### 【内容】

ベビーシッターの社会的使命と役割や 在宅保育の特徴と意義を理解する。

在宅保育における事故の予防と対応や健康管理と病児保育・食育・乳児保育と産後ケア・送迎同行保育・グループ保育などを理解する